

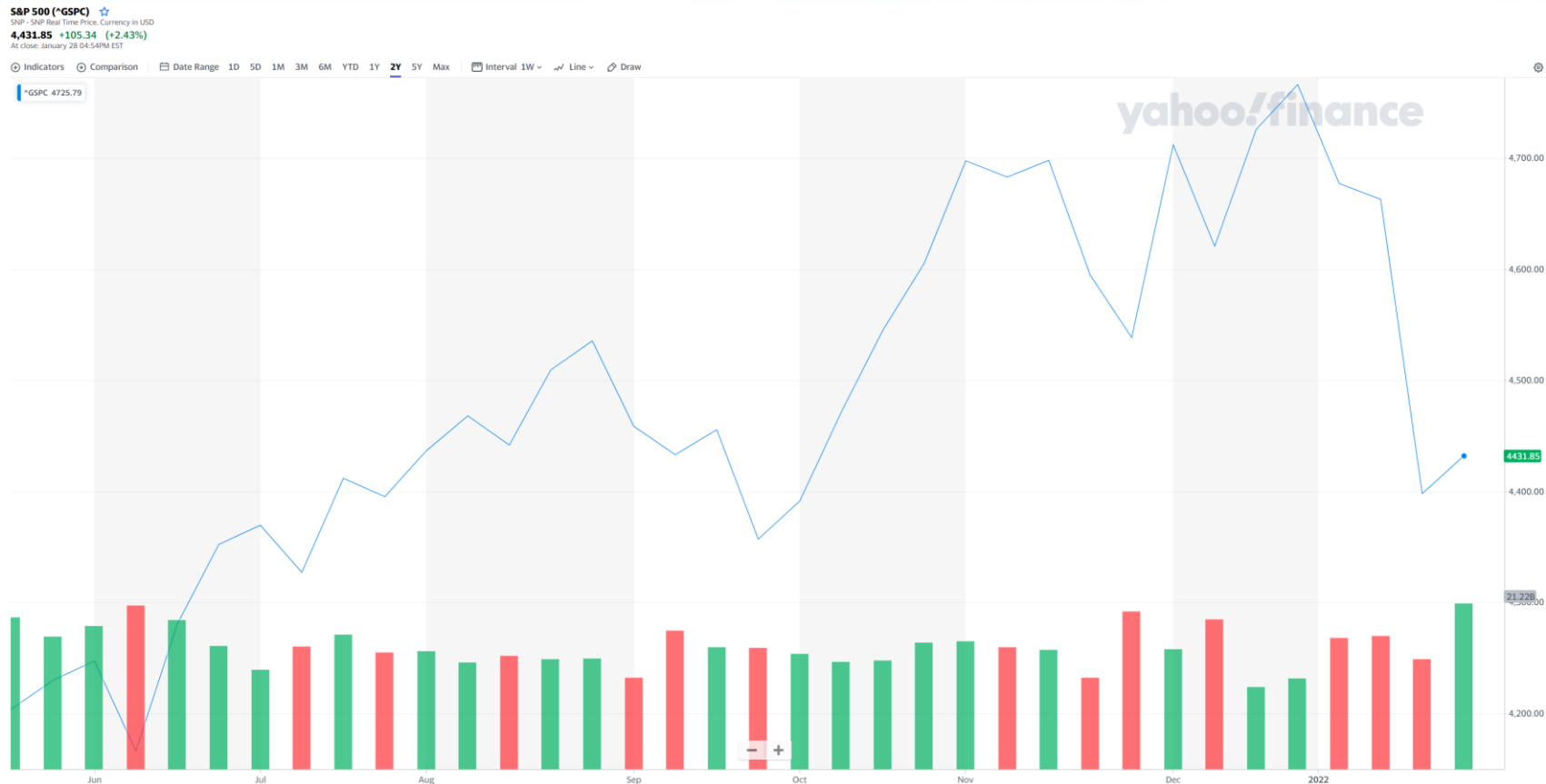
- ・経済概況
 - ・米国株概論
 - ・2021年は最高、2022年は？
- 「今ほど簡単ではないが、日米の基礎的な数字さえ押さえておけば、資産形成はいつでも可能。」



アフターコロナの投資術

～2022年以降の未来を占う!～

米国株はバブルなのか？



- ・フォワードのEPSベースで見るとやや高い
- ・Nasdaqのほうが高いが、成長性も大きい
- ・いずれにしても、無理して突っ込む局面は過ぎた。



シンプル投資術は引き出しの1つとしてっておくといい

- ・誰でも儲かる相場で儲からないのは理由がある。
- ・ダメ株、ダメ指数を買っている ⇒ 良い指数を買えば確率は急上昇する
- ・下がった時に手放したくなるものを買っている
- ・話題性の高すぎる、ボラタイルなものを買っている
- ・数字の裏付けのないものを買っている
- ・雰囲気を買っている(すべての投資商品に通じる)



一番簡単なのは、良い指数を買うこと

S&P 500 に採用される基準

- ・米国企業であること
- ・時価総額が 131 億ドル以上あること
- ・流動性が高く、浮動株が発行済株式総数の 50% 以上あること
- ・4 四半期連続で黒字の利益を維持していること

※時価総額や流動性も大事だが、一番大事なものは黒字であること。
伸びない指数は黒字の条件が無いことが殆ど。

※時価総額加重平均が良く機能している。
日本ではTOPIXがそうだが、足を引っ張る企業が多すぎる。



2022年株式投資のまとめ

まとめ

- ・日米、彼我のインフレ差を考慮すると、米株はそれだけで有利。特に昂進するCPIは要注目。
- ・インフレ国に投資し、デフレの国で過ごすメリットを享受。高インフレは論外。株式はインフレにキャッチアップする優れた資産。
- ・EPS成長が顕著、200ドルから250ドルへの上昇修正をどう考えるか。4400-5100の予想レンジ。指数で取りやすい相場になりそう。
- ・とはいえ、すでに50%近く上昇、織り込み済みなところあり。
- ・暴落時にキラリと光る瞬間を見逃さない。そのためには、絶対買いたい、拾いたい指数や株をピックアップしておくが良い。今回は指数の話。伸びる指数、伸びる株には数字の裏付け、定性的良さがある。
- ・パッと動けるシンプルな投資手法、ロジックを持っておくと投資が楽に。
- ・一番シンプルで基本になるのは積立投資。

